

第2回 日本救急医学会 男女共同参画推進委員会（WEB開催）議事録案 250725JY

日時：2025年7月8日（火）17:00～18:00

委員 山口順子 新井晶子 伊藤香織 窪田生美 佐藤信宏 萩原佑亮 森川美樹 守谷俊 山田成美

（奥田裕子 岡田遥平 川原加苗 寺嶋真理子 中本礼良 宮崎麻里 山岡由季）

（ ）は今回欠席委員

担当理事 横堀将司

オブザーバ 本多英喜（救急外来部門検討委員会委員長）

本多ゆみえ（脳神経外傷学会 ダイバーシティ推進委員会）

前回第1回男女共同参画推進委員会については、突然のZoom→書面開催としてしまい大変すみませんでした。3月13日に送信させていただきました第1回議事録を添付いたします。（資料0）何か修正、追加ご意見ございましたら、第2回委員会でのご発言あるいはメールで山口までご指示ください。

議題

1 救急医学会学術総会（第53回）の状況報告

1) セッション

プログラム委員 番匠谷先生より

パネルディスカッション 06

救急医を続けていくために～多様なキャリアの実現に向けて～

セッション趣旨：救急医をライフワーク（一生をかけてやり遂げたい仕事）と言える人は多くなく、みんな不安を抱えている。多様なキャリア形成が出来る土台があれば、その不安を軽減できるのではないか。様々な世代の経験を基に、多様なキャリア形成を実現するための工夫を共有し、一般化するための方略を共に考えたい。

指定+公募で28名の演者の先生方→結果8名の先生方が決定。

前半 4名 多様な働き方紹介

後半 4名 多様性の一般化に向けて&救急医を一生続けていくための提案

発表時間は、8分（+確認1分） 総合討論 18分

PD6 主要演題セッション

発表者を6人、一人7分（+確認1分）×6人、総合討論 12分。

・上述のセッションで漏れた方々について、ラウンジセッションへ何人かご推薦できるかどうか。

2) ラウンジの件

本年大会においても、大会長より総会のけるラウンジ説明についてお認めくださり、全面ご協力くださることについてご承認いただきました。窓口は 関西医科大学 総合医療センター 救命救急センター 中森靖先生がお引き受けくださることになりました。JCS 様にこれまでの内容について、参考文書としてお送りし、ご依頼申し上げているところです。

→上述1)、2)について山口委員長より現在の進捗状況について報告を行った。
男女共同参画推進委員会がパネルディスカッション6に参加することを説明し、このセッションでは、多様なキャリアの実現に向けて28名の演者が参加し、公募と指定の演者の選定プロセスについて詳細を委員の皆様方と共有した。

今回パネルディスカッションや主要演題セッションに採択されなかった抄録提出の方々や、男女のバランスの観点から、事前に指定演者としてお声がけをキャンセルさせていただいた加藤千尋先生などには、別途ラウンジセミナーでの講演をお願いできるかどうかご依頼させていただくことについて委員の皆様の承認をいただいた。

ラウンジ運営については、萩原委員よりプログラム委員会からラウンジ担当者について昨年同様ご協力いただける旨コメントをいただいた。
山口委員長より、今後学会のプログラムを再確認し、ラウンジでのテーマや内容について再検討し、再度委員会でご相談したいと発言があった。

今回ラウンジ設営に関するお願い事項

1. 3日間のラウンジ運営にあたる資機材、お茶菓子等の支援のお願い

回答→おおむね OK.他企業共催可能。

2. ランチョンセミナー開催時など、お子様連れの方々の飲食、休憩スペースとしてのラウンジの常時解放のご許可

回答→回答待ち。

3. ラウンジでの学会聴講を可能とするシステム整備のご検討のお願い

回答→回答待ち。プログラム中継について、中継する会場数は学術集会予算状況、プログラム編成状況にも影響してくるため、改めてのご回答

4. 託児所利用のための早期情報公開のお願い

回答→本会ではお部屋の都合上、大阪国際会議場内に託児室を設けることが難しく、

隣接のリーガロイヤルホテル大阪に設置されている既存の託児室を利用予定

5. 会員の携帯電話の充電を可能とする電源タップや設備のご提供のお願い
回答→休憩コーナー等に電源コーナーは設ける予定。

今回第 53 回のラウンジイメージ

ラウンジ兼プログラム会場として 1 部屋（会議室 1101・2）のみご案内可能
第 52 回のようにラウンジ用のお部屋と講演会場をご用意することが難しく、
第 51 回のようにラウンジと講演会場を兼ねた部屋。

大阪国際会議場 会議室 1101・2

<https://www.gco.co.jp/facilities/11f/>



2. 報告&審議：座長のつとめ方の冊子作製、周知の件 （添付資料 1）

<理事会でのご検討結果について>

横堀担当理事より、結果についてご報告くださりました。

- ・おおむね進めることについてご快諾いただけ、承認に至りました。ご意見をいくつか賜りました。
- ・題名の『学会座長の手引き』→ビギナーに関する、の意味合いをタイトルに入れるといいでしょう。はじめての学会座長の手引き、など、『初学者用の』の意味合いを入れるといいかも（織田理事）
- ・準備の部分を手厚く記載を。たとえば、抄録を読み、研究について事前に内容を調べておく、などの内容を追記したらいい（溝端代表理事）
- ・修正後、URLをお知らせ案に載せる等、可能です。

また、今回の大会長の楢形先生も、学会のHPなどで周知して下さるとのこと。
第53回日本救急医学会総会HPでの掲載や、今回座長を引き受ける会員に手に取っていただけるように、取り急ぎ発刊を目指したいと考えます。
→座長のつとめ方に関する冊子のドラフトについてご意見やアイデアを委員のみなさまにお諮りし、発刊を目指したいと思います。事務所より男女共同参画推進委員会とプログラム参加推進委員会委員へ座長の手引き作成のための写真提供を依頼いただくこととなった。

3. その他